

[資料] 過去の主な海上災害

年別	事故発生日時	被害状況	気象条件	死傷者数
1966年 昭和41年	3月7日 8時30分すぎ	宇部市の宇部岬南東約15kmの周防灘で石炭石運搬船(2万3000t)にアスファルト運搬船(692t)が衝突し、それぞれ破損した。	濃霧 (視程不良害)	
1972年 昭和47年	12月7日 8時30分ごろ	宇部市本山洲灯台沖約5.8kmの海上で、濃霧のため停泊中のプロパンタンカー(338t)に貨物船(773t)が衝突、両船首付近を破損したが、航行に支障はなかった。	濃霧 (視程不良害)	機関員1名 負傷
1973年 昭和48年	3月29日 23時ごろ	小型タンカー同士の衝突。	濃霧 (視程不良害)	
1973年 昭和48年	3月30日 20時20分	小野田市本山岬の東約2kmでタンカー(353t)に貨物船(494t)が衝突した。	濃霧 (視程不良害)	
1973年 昭和48年	12月7日 2時ごろ	小野田市本山岬の南西約1.6kmで、活魚運搬船(43.2t、4人乗組み)が風波のため、浸水し、約30分後に水船になった。	寒冷前線 (波浪害)	乗組員2名 死亡
1977年 昭和52年	12月1日	小野田市の小野田港南西3.1km沖の周防灘で、貨物船(106t)が沈没。	季節風 (波浪害)	行方不明者 2名
1980年 昭和55年	5月5日	宇部港沖の2.7kmの海上で、油タンカー(1,250t)と硫酸タンカー(699t)が衝突。油タンカーの船首が破損し、積荷の重油3,510キロリットルの一部が海上に流出した。「海洋汚染防止法」に基づき、海上保安庁長官から指示を受けた海上災害防止センターが、専門業者(サルベージ)をつかって強制的に処理を行った。	波浪注意報	
1981年 昭和56年	12月28日 16時50分ごろ	宇部市の南東12kmの周防灘で貨物船(497t)と貨物船(499t)が衝突、貨物船(497t)が沈没したが、乗組員全員は救助された。	濃霧 (視程不良害)	
1983年 昭和58年	10月8日 6時ごろ	宇部岬沖で、貨物船(126t)が横波をうけて、転覆沈没した。乗組員2人は、付近の船に救助された。	低気圧 (波浪害)	
1986年 昭和61年	6月16日 21時ごろ	宇部港の東約9km沖で石炭1,000tを積んだ台船(340t)が高波をうけ、浸水のため、沈没した。	梅雨前線 (波浪害)	
1998年 平成10年	4月23日 0時16分ごろ	北九州市門司区新門司沖約4kmの周防灘で、広島市の貨物船(491t、5人乗り組み)とベリーズ船籍の貨物船(1,301t、8人乗り組み)が衝突、ベリーズ船籍の貨物船が沈没した。8人は救助され無事だったが、同船の燃料用重油の一部が流出した。	濃霧 (視程不良害)	